

銀の輔銀座千枚年末の部



あつという間の十二月、きっと銀座の街はクリスマスだなど思つたら、もう行かずにはいらぬ。どこかのライトアップや巨大ツリーより、この街の趣向を凝らしたホリデーシーズンの装いに会いたいんだ。

名物だったミキモトのツリーは建て替えで消えてしまつたけど、お隣の山野楽器がバトンタッチしてくれた。大好きだったサエクサの優しいディスプレイが見られないのは残念だけど、真向かいの銀

座シックスのブランドショッピングにも、小さなサンタがあちらこちらに併んでる。

今年一番嬉しいのは銀座コアのショーウィンドウ。この季節にペンギンが登場したの、久し振りじゃない? やるねえコア。来年も是非! って思うけど、そんなことは絶対しないのが銀座の誇り。いや、考えみたら、大きなヴィンドウに商品を一切並べないって嬉しいよね。道行く人の目を楽しませることを一生懸命考える。

や、僕も胸を張つて歩くよ。

勝手にお気に入り5
・ 昨年見た映画ベスト5
・ サクロモンテの丘
・ ソール・ライター
・ ロバート・フランクの写した時代
・ 僕とカミンスキーハーの旅
・ ジーサンズ 次点・おじいちゃんはアーティジエンス

版元: 東京ペンギン堂本舗・高野ひろし 豊島区北大塚2-26-2
fax: 03-3917-1949 RXM04421@nifty.com
協力: 高島平電腦研究所、築地河岸工房
関連ウェブ: 各種検索エンジンで「東京ペンギン堂本舗」検索するとポータルサイトに辿り着けます。http://shiosenbe.boo.jp/

高野金次郎商店

親切第一 平成30年新春号

勝手にお気に入り5
・ 昨年見た映画ベスト5
・ サクロモンテの丘
・ ソール・ライター
・ ロバート・フランクの写した時代
・ 僕とカミンスキーハーの旅
・ ジーサンズ 次点・おじいちゃんはアーティジエンス

銀の輔 一陽来復の戌年



という訳で、あけましておめでとうございます。今年は君の出番だね。その割には人気ないなあ。渋谷に行つてごらんよ、君みたいな犬がいるけど、一年中大人気だよ。忠犬とか言われて、ハリウッド映画にまでなつて、修学旅行生や外国人観光客いらしそうですね。上野のお山じゃあ西郷さんと一緒に立つてあるから、相撲の街なんだね。うつかりしてたけど、君は元大だつた。人間になりたい犬は、ここに来ればいいんだね。これ

には騒がしいよりはずつといいんだけどさ。ここも相撲ゆかりの神社なんだね。境内を取り囲む玉垣には、年上の大人なら泣いて喜ぶような力士の名前が、ズラッとならんでいる。江戸時代は勧進相撲つて本殿に掲げられた注連縄が、どこのをやつたらし。そつ思つて、あつたし、強烈な相撲系古書店もあるから、相撲の街なんだね。うつかりしてたけど、君は元大だつた。人間になりたい犬は、ここに来ればいいんだね。これは人気者になっちゃうかもよ。

それに比べて、藏前神社にいる君の周りは、凄く静かだね。個人的

次点・おじいちゃんはアーティジエンス 次点・おじいちゃんはアーティジエンス

ゴン、ベイビードライバー、土竜の唄、セントラルulin

テリジエンス

次点・おじいちゃんはアーティジエンス 次点・おじいちゃんはアーティジエンス

東京プチアーカイブ

例によって旧実家から救い出した中途半端に古い写真から手縫の東京物語。

二十代も後半から十年ばかり、ホンダ・レブルというなんちゃつてアメリカカンタ

イブのバイクに乗っていた。高速道路で遠出するのも面倒臭く、家の近所で暢気

に走れる場所は、豊洲晴海有明若狭といつた湾岸地域だった。元々埋立地の倉庫街なので、信号が少ない直線道路が多いからだ。まだ豊洲に廃屋のような煉瓦倉庫があった頃のことだ。

草茫然の有明エリアの休日は、釣りのおじさんと走り屋のお兄ちゃんの聖域。

それが徐々に開発され始めた。臨海副都



心構想だ。粗大ゴミと野犬も出没する草地は荒涼とした更地になり、我儘放題に出来たビルをユリカモメが結ぶ姿は、世界戦争後の近未来都市のようだった。

新橋演舞場が醸し出す空気感が好き

だつた。亡くなつた團十郎の海老藏製名

興行がスタートとなつた僕の芝居見物が

ピールを迎えたのは、大学時代。時間と懐具合が許す限り、歌舞伎座明治座国立

劇場を駆け巡つたけど、あの演舞場の独

特の風情が僕を惹き付けた。歌舞伎座よ

りも大袈裟でなく、外観のモダンさと場

内に漂う枯れた艶っぽさみたいなのが、

芝居氣分を盛り上げてくれたたよつと思つ。

それは周辺の花柳界が持つ併まいだつ

たんだろう。その最たるもののが人力車

だつた。当時だつて滅多に見掛けなかつたけど、屋間走る人力には歌舞伎座と掛け持ちする役者が乗つていると教えられてから、東京の真ん中に残る江戸情緒みたいなもの

を、勝手に妄想して眺めていた。

演舞場の人はとても優しかつた。三階席の隅っこで脛の部を見て、さあハネたけどどうしようかなつて思つてると、お掃除の

おばちゃんが来て、「夜も見るの?」、「本当

は見たいんですけどね?」、「だったらこのま

まいれば?」。そんなことが何度があつた。

歌舞伎座より狭い空間に、どこか不思議な連帯感を感じたのは僕だけだろうか。隣

でも演舞場の真骨頂は東おどりなんだろうと思う。なにせ新橋の芸者さんの技芸向上のために作られた建物だから。残念ながら僕は、以前の演舞場で東おどりを見たことがな

かった。歌舞伎に夢中で、そこまで考へが及ばなかつたんだ。しかし、あの演舞場で感じた艶やかさと穏やかな雰囲気は、周辺に停められた人

力車の風景とブレットしてた。

僕と秋葉原の関係は、以前ここで話した。子供の頃から通つた町だけ

かかった。交通博物館は知つても、柳原通りの楽しさに気付くのは大人になつてからだつた。

神田周辺に点在する空き地で焼けなかつたエリアのひとつで、看板建築の宝庫でもつた。この通りのラン

ドマークたる柳森神社は江戸名所でもあり現在は猫好きには知られたス

ポットだけど、僕は滑り台のある神

社というイメージだつた。やたら急

で華奢な階段とコンクリ製のスローブがアンバランスで、しかも境内に

あるのが謎めいていた。

そしてこの町の謎は、神田川の向

こう側と昭和通りの向こう側にも横たわつていることを知り、秋葉原が

より僕に近づいてきたのだった。

高級句誌
作人同様
Haijin Doyo
三朝庵梅里・筆
SAN CHO AN BAI RI

月日経のは矢の如し、気が付きや今年もあと僅か、紅葉前線通り過ぎ、冷たい雨に濡れ落ち葉、世の中師走の只中で、秋から冬へとイメチェンし、着ぶくれ放題山手線、秋と言うなら秋葉原、新手の神社はビル一階、風冷たいが萌えていて、鉄ちゃん好みの昌平橋を、渡り近江屋洋菓子店、淡路町から外堀通り、

名も麗しき一八通り、細めの多町大通り、カズオイシグロ早川書房、神田駅から日銀通り、室町通りで腹の虫、養い潜る砂場の暖簾、柳の緑も美しく、思わず一杯ご愛嬌、工事ラッシュの中央通り、浮世小路は福徳稲荷、日本橋から麒麟を見上げ、一本桜は春を待つ、永代通りを左折して、八丁堀から茅場町、其角

宗匠宅跡を、一札坂く道すがら、靈岸島をかすめつつ、荷風も渡りし水代橋、延命治療の工事中、小春日和の日差し受け、水面きらめく大川と、下流に望む佃島「チマンハッタン」言い過ぎか、佐賀町河岸から福住へ、門前仲町赤札堂、妻結新三も見得切った、深川名代の焰魔堂、お闇魔様は全自動、過ぎて深川冬木の地、弁天様を参詣し、秋から冬の町巡り。



小春日に輝く縦割り佃島 梅里

中央線見おろし笑顔の総武線



素通りは東京っ子の恥よ柳越し



秋から冬への町旅



ちよいと待て俺も用足し焰魔堂



材木の町の証の挺りどころ

